

2025年1月17日(金) 第46回例会

【オンライン：ZOOM開催】



会長の時間



沖縄首里 RC 会長 坂東 隆弘

Mark Daniel Maloney ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー 2019-20年度国際ロータリー会長
ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州) 弁護士 です。

2019-20年度、会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

(Rotary Connects the World)、ロータリーの奉仕を通じて、
有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつ
ながりを築いてまいります。と、RI 会長を務めました。

また、マローニー氏は、「クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリー
のあらゆることはクラブで起こる」といっています。弁護士であるマロー
ニー氏は、草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする
会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たな
アプローチを試みたいと考えておられました。

Mark Daniel Maloney



マローニー氏は、世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場に立てる可能性があると考えておられます。

マローニー氏は、神戸で開催されたロータリー研究会で直接お会いしたことのある数少ない RI 会長の一人です。ですから、M で彼を選んだ時、色々なエピソードがかけると安易に考えていましたが、特出する物がなくはたと困ってしまいました。立派な経歴などは文章の末尾に記載しておきますが、なぜそうなったかと考えたとき、気がきました、この年度 2020 年 1 月～からの新型コロナの流行です。「新型コロナ COVID-19 は世界を分断する」まさにこの年度はこれまでのつながりを阻害されてしまった年度となりハワイで予定されていた世界大会も中止となり、マローニー氏の印象に残るロータリーでの活動は見当たりませんでした。

しかし、マローニー氏は、この事態を予測したかのように、こうも言っています。

ロータリーの礎は「つながり」です。と

若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから 1 世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。とも熱く語っていました。

21 世紀の新たな 10 年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20 年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

これこそハイブリット例会、Zoom 例会なのです。コロナで生まれた苦肉の策の Zoom が、新しい例会の形を、またこれまでにない広範囲の多様性に富む会員をつなぐ手段となったのです。私たちは、これを大いに使ってこれまで以上に繋がっていきましょう。

次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

※参考 マークダニエルマロー二氏の主な経歴

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

1980 年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジアベ 2003-04 年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004 年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014 年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

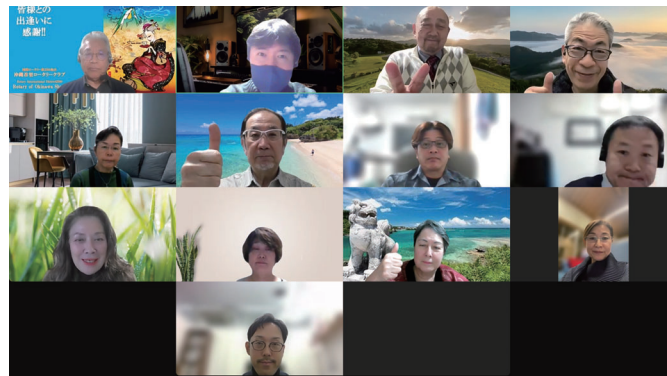
ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH (学校での水・衛生) 委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

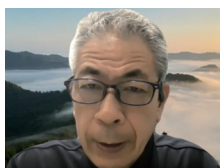
例会次第

例会の様子

開会点鐘	坂東 隆弘 会長
ロータリーソング「OSRC の歌」	
ビジターゲスト紹介	司会
会長報告の時間	坂東 隆弘 会長
幹事報告	土田 光一 幹事
委員会報告等	各委員長
沖縄首里 R C 設立の経緯 情報共有の時間	
閉会点鐘	坂東 隆弘 会長



幹事報告



土田 光一 幹事

■ 理事会報告 (報告事項)

- 2025年2月21日(金)～24日(月祝) 地区 RYLA セミナーが玉城青少年の家で開催されます。ロータリアンのご登録(寄付)をお願いいたします。
 - 2025年4月23日(水)～24日(木) 地区大会が立川ステージガーデン並びにホテルエミシア東京立川にて開催されます。
- この2件を「調整さん」にて登録をお願いしております。欠席の場合でも全員登録をお願いします。

今後の主な活動・会議

■ 沖縄分区分 IM(インターシティミーティング)

2025年2月7日(金) 14:00～
 登録開始: 13:30
 本会議: 14:00～17:30
 懇親会: 17:50～20:00
 場所: ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城「首里の間」「守礼の間」
 分担金は全員登録となっています。

■ 沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ3月事業

3月8日 国際女性デー OKINAWA
 「地域を支える一歩を一緒に！」
 開場: 17:30
 開会: 18:00
 場所: 沖縄県立美術館・博物館 2階ホール

出席報告

参加者:15名【うち、会員15名 / 36名 [出席率:42%]】

次回例会のお知らせ

■ 第47回 例会 沖縄分区分のIM(インターシティミーティング)

開催予定日時: 2025年2月7日(金) 14:00～17:30
 場所: ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城「首里の間」「守礼の間」 + オンライン(zoom)

■ 第48回 例会

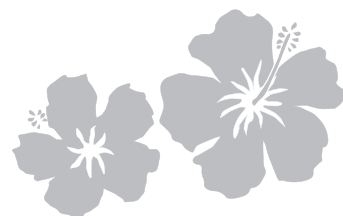
開催予定日時: 2025年2月21日(金) 19:00～20:00
 開催方式 : オンライン(zoom)

■ 第49回 例会

開催予定日時: 2025年3月7日(金) 19:00～20:00
 開催方式 : ハイブリッド

■ CR45 ちょっとロータリー

開催予定日時: 2025年1月24日(金) 12:10～12:55 (お昼)
 開催方式 : オンライン(zoom)



沖縄首里 RC 事務局
 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-21-1-201 IUU 株式会社社内
 Email osrc-office@okinawashuri-rc.jp
 Call 098-867-3300



District 2580
Rotary
 Club of Okinawa Shuri

